

調査概要

目的：学力や学習状況の把握・分析により、教育施策の成果と課題の把握・検証・改善を図り、指導充実等に役立てる。

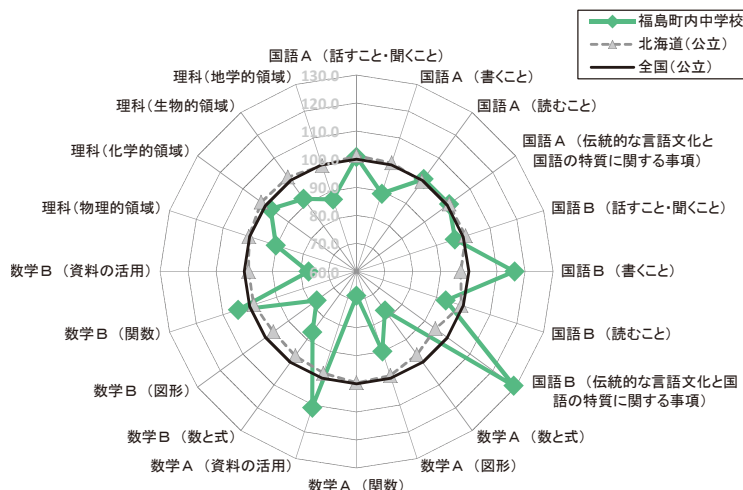
対象：小学6年生 中学3年生

内容：①教科：国語（A・B）、算数・数学（A・B）、理科の調査
A…主に知識に関する問題、B…主に活用に関する問題
②児童生徒質問調査・学校向け質問調査

■福島町内中学校の状況及び学力向上策（学校数：1校、生徒数：22人）

【教科全体の状況】

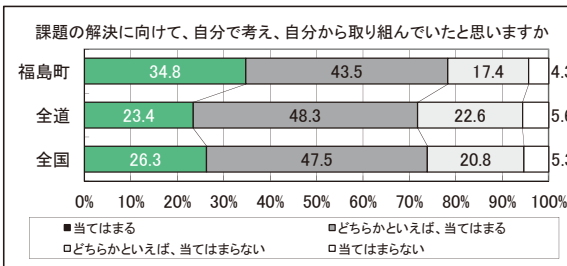
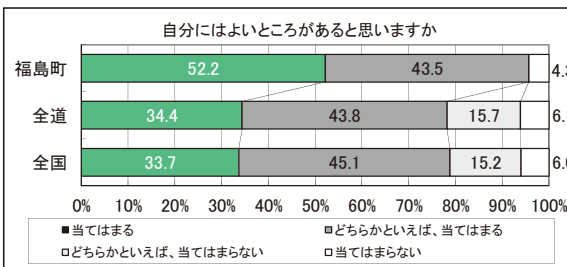
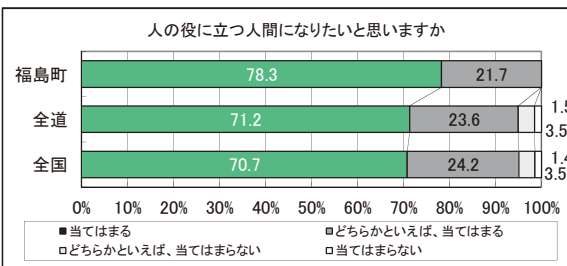
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）



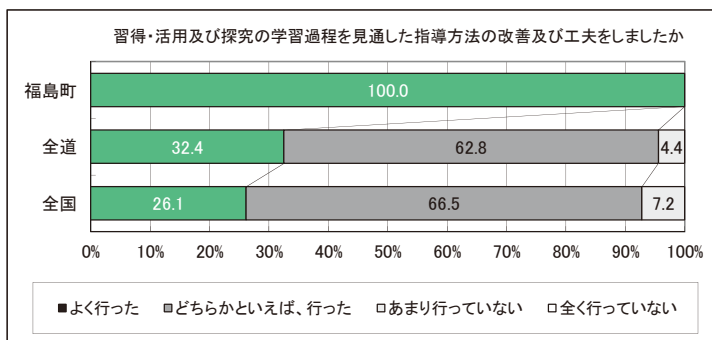
＜福島町の平均正答率＞

国語A	国語B	数学A	数学B
76	58	55	41

【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○数学Aでは、「資料の活用」、Bでは、「関数」で全国を上回っている。	○習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った結果、校内で授業改善が推進し、学力が向上したと考えられる。
児童質問紙	○「人の役に立つ人間になりたい」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○教師が、積極的に生徒のよいところを認めたり励ましたりした結果、生徒の自己肯定感が高まり、学習に進んで取り組む生徒が増加したと考えられる。
学校質問紙	○習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をよく行った。	○課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む活動を授業内に位置付けた結果、基礎的・基本的な学力が向上したと考えられる。

【福島町の学力向上策】

- ◎基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための計画的な授業改善の取組
- ◎チーム・ティーチングによる習熟の程度に応じた少人数指導の充実
- ◎思考力・判断力・表現力等を育成するための計画的な授業改善の取組
- ◎放課後や長期休業中の補足的な学習サポートの強化